
貧酸素情報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成27年 9月 1日 (火)

鹿児島湾 貧酸素情報 No.1

[1] 8月31日の調査結果

(1) 貧酸素水塊の状況

鹿児島湾奥部の水深0m~30m層では、溶存酸素量が4.0mg/lを下回る水塊は確認されませんでした(下図参照)。

(2) 赤潮生物の出現状況

湾中央部、湾奥部ともに珪藻類が多い状況でした。

有害種であるツマトリマリーナやアヘソグマアカ等は確認されませんでした。

(3) 海況

表層水温は湾中央部で26.2~26.6℃、湾奥部で25.3~26.5℃で平年同時期より低め、塩分は18.0~30.6と平年同時期より低め、透明度は3.5~11.0mで平年同時期よりやや低めとなっています。

水温：平均 26.0℃ 湾奥部 25.9℃ 湾中央部 26.4℃

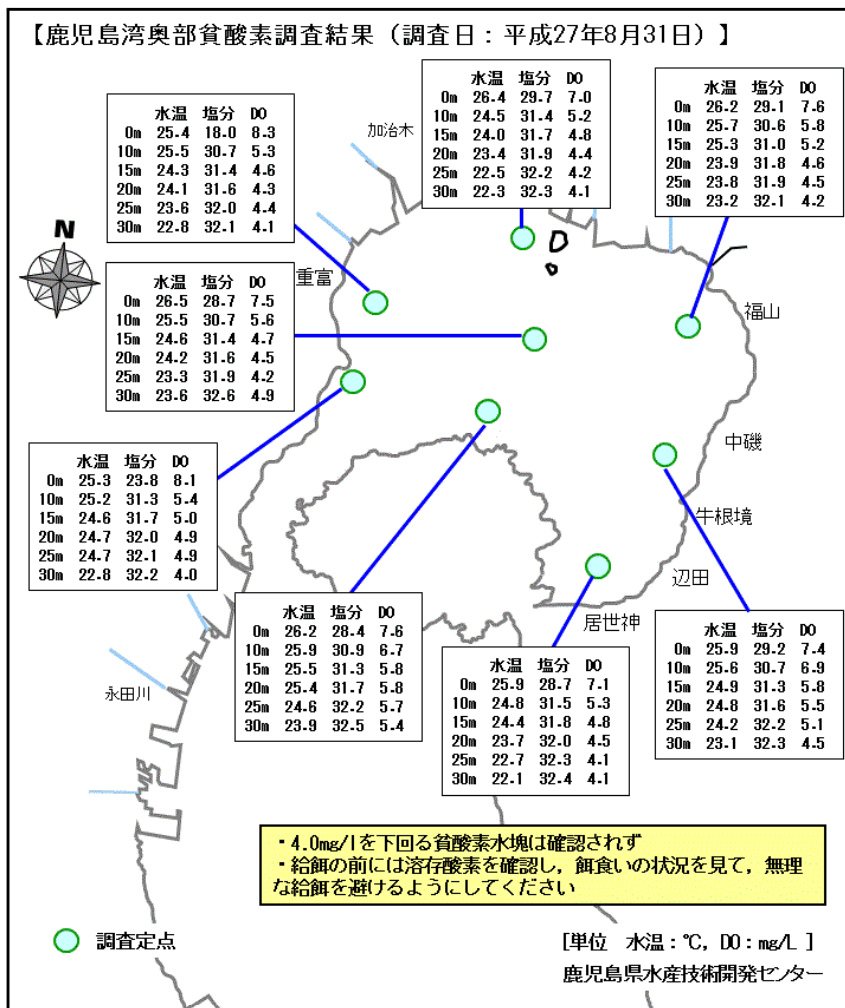
塩分：平均 27.6 湾奥部 26.7 湾中央部 30.4

透明度：平均 5.2m 湾奥部 4.6m 湾中央部 7.3m

(平年値は平成17~26年の8月の平均値)

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

今回の調査で、0m~30m層で溶存酸素量が4.0mg/lを下回る水塊は確認されませんでした。今後表層水温の降下によって起こる鉛直循環が活発となる10月下旬までは、中層付近で貧酸素水塊が発生して継続する可能性があると思われます。



(注意事項)

- 給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- 過去、溶存酸素が4.0mg/lを下回った状況での給餌で、へい死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- 給餌の前には、必ず溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けた方がよいでしょう。

赤潮情報 (携帯電話) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>
 赤潮情報 (パソコン) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

・4.0mg/lを下回る貧酸素水塊は確認されず
 ・給餌の前には溶存酸素を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けるようにしてください